

八王子城跡整備基本計画書における整備項目と時期(計画期間:平成19年度~)

※「計画」の内容は、P77より転記

計画※	実績	評価	実施出来なかった理由(推定)	改善策	コメント
1. 短期計画 ― 早急な対策と整備 (1~3年目標)					
A. 普及活動と人材育成					
1) 地元への広報、働きかけ	なし	×	計画の狙いが不明確/やる気無し	まずは地元のやる気を阻害しないこと	
2) ボランティア等の養成と育成	ガイドボランティア(3期まで)育成と活用	○			
B. 史跡や遺構の保存と公開					
1) 現状把握のため確認調査	寺社私有地のみ限定的に発掘を実施	△	国有地・都有地に関しては手付かず/やる気無し		
2) 破壊遺構の保護保全	なし	×	国有地・都有地に関しては手付かず/やる気無し	まずは民間の遺構情報を無視しない。	
3) 回遊路(散策通)ルート等検討	なし	×	やる気無し/予算申請なし	まずは主要道の整備・地図設置が先。	
C. 安全な公開					
1) 既整備範囲の破損箇所への応急対応	破損箇所の長期放置なし	○			
2) 道標・サイン等の優先的な設置	サインは設置/ルート地図設置は未実施	△	専任担当者不在/情報不足		
3) 安全パトロールの実施	麓部整備地区のみ日課で実施/山上部はガイド・都レンジャー(任意)任せ	△	専任者(市職員を含む)がいないため定期的巡回が出来ない		
D. 根小屋地区公有地(飛地)の活用					
1) 史跡内居住者を中心とした協議会の設置	なし	×	地元住民との良好な関係が構築出来ていない(中山勘解由邸跡・西川勝美氏問題など)	まずは教育長が問題を認識すること。住民の生活権を不当に制限しないこと。	
2) 公有地の有効活用への協議	国有地・都有地に関しては、なし	×	国・都との連携のための協議をする気がない	まずは教育長が問題を認識すること。	
3) 公有地の一部整備・公開	離れの市有地については年1回の業者草刈りのみ/案内板なし	△	後回しになっている/やる気無し		
E. その他					
1) 他省庁等まちづくり関連事業の検討	なし	×	現状、観光課との連携すら取れていない	年6回程度の定例会議を開催し、内容を検討すること。	
2) 防災対策について関係機関への要請	なし	×	計画の狙いが不明確/被害想定情報なし	発生時対応で良い。	
2. 短期計画 ― 短期的整備 (3~5年目標)					
A. 普及活動と人材育成					
1) ガイダンス施設等の建設(大学跡地)	ガイダンス施設完成	○(済)			終わった計画は削除する
2) 市民協働による活動と支援	なし	×	市民(団体)の意見は聞かない	まずは民間の善意の活動が違法活動にならないように配慮すべき。	
3) 小田原市や寄居町との広域連携	氏照祭(国史範囲外の活動)のみ	△	基本的に民間任せになっている		
4) コーディネーターの育成	なし	×	計画の狙いが不明確/やる気無し	何を目的にするのか明確にすること。	
B. 史跡や遺構の保存と公開					
1) 未調査範囲の優先的調査	なし	×	専任担当者不在/やる気無し	まずは精密航空測量データを活用して古道などの地形遺構の存在を確認すること。	
2) 残存遺構の保護保全	なし	×	専任担当者不在/やる気無し/予算申請なし	まずは国史指定範囲の拡大で、林野庁の地形破壊をやめさせる事が急務。	
3) 回遊路(散策)ルート等一部整備	なし(計画外で曳き橋架け替えあり)	△	やる気無し/予算申請なし	まずは材木沢ルートの通行止解除をすること。	
C. 安全な公開					
1) 登城道の復旧、管理	定期管理、荒廃の整備が出来ていない	△	予算申請なし/ボランティア団体との連携なし	城址管理人を平均1.5人体制(現状1人)にし、突発的作業への対応能力を高める。	日常業務なのに何故中期計画なのか?
2) 便益施設、休憩施設の設置	山上部の施設整備なし/休憩施設は麓部のみ整備	△	予算申請なし	年々荒れ放題の山上までのルート整備を優先すべき。	
D. 根小屋地区公有地(飛地)の活用					
1) 根小屋地区の保全・活用	なし/市有地草刈りのみ	△	予算申請なし/ビジョンなし/やる気無し	まずは近隣の主要道沿いに遺構地図を設置すること。	
2) 小田野地区の保全・活用	なし/市有地草刈りのみ	△	予算申請なし/ビジョンなし/やる気無し	草刈り範囲の拡大で遺構が見えるようにする。	
E. その他					
1) 防災対策	なし	×	狙いが不明確/被害想定情報なし	発生時対応で良い。	
2) 現状変更等の見直し	なし	×	民家建て替えレベルでも不許可(志村良夫邸)	文化財保護法の柔軟な解釈と適用が必要。	
3. 中・長期計画 ― 中・長期的整備 (5~10年目標)					
※平成19年度からある項目は、平成28年度内が実施期限となる					
F. 総体的な環境の保護・保全					
1) 御主殿跡内部の整備	順次予算執行されている	○			
2) 崩落が進行する石垣の保全と整備	なし	×	やる気無し/国有地は調査・害木除去すら行われず	尾根上の砦周辺、中腹連絡道に絞って基礎遺構調査と害木除去を行う。	
G. 広範囲な公開のための施設					

1) 要害部の整備検討	なし	×	予算申請なし／具体的計画ビジョンなし／私有地への公費投入を躊躇	松木曲輪展望台の改修、遺構・ルート地図の設置を優先する。	
2) 崩落が進行する石垣の保全と整備	なし	×	やる気無し／国有地は調査・害木除去すら行われず	まずは国史範囲外を含めて基礎遺構調査をしっかりとやること。	このテーマは3-F-2)にあるので削除。
3) 遺物展示施設の建設	なし	×	予算申請なし／郷土資料館新築で代用か	箱物展示施設の建設よりも先に、まずはHP上で研究成果を発表すべき。市のHPには型通りの紹介しかない。石垣の位置や中腹古道の痕跡まで判る高精度航空測量データは、速やかにHP上で公開すべき。	
H. 継続的な学術調査・研究					
1) 長期的展望にたった発掘調査	なし	×	場当たりに民有地のみを発掘している	まずは国史範囲外を含めて基礎遺構調査をしっかりとやること。	
2) 総合的な学術調査	なし	×	やる気無し／対応が杜撰なため、八王子城を扱う学者にも嫌われる残念な城	まずは大学などの研究機関とのオープンな連携をしっかりとやること。	
J. 研究成果の発表・展示					
1) 遺物の展示施設建設	なし	×	予算申請なし／郷土資料館新築で代用か	3-G-3)と同じ	